

(様式1-2)

## 道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和元年度）

### 1 学校の概要

- (1) 学校名 善通寺市立西中学校  
(2) 所在地 香川県善通寺市文京町四丁目1番1号  
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (平成31年4月1日現在)

| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 特別支援学級 | 児童生徒数計 | 教員  |
|------|------|------|--------|--------|-----|
| 3学級  | 3学級  | 3学級  | 3学級    | 270名   | 28名 |
| 81名  | 86名  | 95名  | 8名     |        |     |

### 2 研究主題等

- (1) 研究主題 互いに支え合い 高め合い、生き方についての考えを深める特別の教科 道徳をめざして  
(2) 研究主題設定の理由

本校では、学校教育目標「互いに支え合い 高め合いながら課題の解決に努める生徒の育成」の下、教育活動全般を通じて互いの人間性を認めながら、本音で語り合える学級づくり、仲間づくりに取り組んでいる。また、昨年度に本事業の指定を受け、「校内体制の再構築」や「考え・議論する道徳の授業づくり」、「保護者・地域との連携」等について実践を積み重ねてきた。

その成果として、各種学力調査における生徒質問紙の社会性・道徳性に関わる質問項目に改善が見られた。しかし、地域の方々とのふれあいや自己有用感に関する項目で、学年が上がるにつれ、生徒の意識の低下がうかがえた。そこで、道徳の時間をさらに充実させるとともに、教育活動全体を通じた道徳教育の推進により、根気強く何かをなしとげようとする実践力を育てたり、夢やあこがれを抱かせたりする。また、地域の方々の力添えをいただきながら、自分に自信をもたせたり、人に積極的にかかわったりできるようにする。

### (3) 研究内容及び方法

- ① 道徳教育の充実を促す指導体制  
ア 3プロジェクト（教材P・連携P・環境P）による指導体制の充実（チームとしての道徳教育の推進）  
イ 異学年合同道徳の実施（多様な見方・考え方を広げ、自己有用感を高める授業形態の工夫）
- ② 道徳教育の質的転換を図る授業づくり  
ア 登場人物への自己関与の意識を高める学習（道徳的価値の理解を深めるための指導方法の改善）  
イ 問題解決的な学習（道徳的価値を実現するための中心発問の改善）  
ウ 道徳的行為に関する体験的な学習（役割演技などの指導方法の改善）
- ③ 保護者・地域との連携  
ア 道徳通信の発行（保護者や地域への情報発信：月1回程度）  
イ 地域とつながる道徳（地域人材をゲストティーチャーに迎えた学習）  
ウ 全校・学年一斉道徳（保護者と共に学び合う機会の充実）

### 3 成果の評価方法（検証方法）

- ① 外部指導者や学校関係者評価委員による指導・助言（指導体制及び前期・後期の授業改善の変容等）  
② 教職員相互の評価及び生徒のワークシート等への記述、生徒による授業評価結果等の分析  
③ 全国学力・学習状況調査や県学習状況調査、本校独自の生徒質問紙結果の分析

### 4 研究成果の普及方法

- ① 道徳的な実践に関する情報を「道徳通信」にまとめ、毎月、保護者や地域に発信する。  
② 「香川の教育づくり発表会」等で取り組みの一端を発表する。